

令和4年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立スポーツセンター及びふじみ野市運動公園等	所管課	文化・スポーツ振興課、公園緑地課
指定管理者名	ふじみ野市指定管理者アイル・オーエンスグループ	施設分類	スポーツ・レクリエーション系施設
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日	5年間	利用料金制導入
導入年月日	平成24年4月1日	指定回数	3回
施設設置目的	市民のスポーツ活動を推進し、心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の向上を図る。		
施設概要	スポーツセンター（総合体育館、弓道場、多目的グラウンド、テニスコート、駒林体育館、上野台体育館） 運動公園等（運動公園、第2運動公園、荒川運動公園、荒川第2運動公園、びん沼サッカー場） 【総合体育館】 ・敷地面積：14,343.67㎡ ・供用開始：昭和57年4月、大規模改修後供用開始：平成29年10月 ・施設：アリーナ、多目的室、柔剣道場、会議室1、2、幼児室、ジョギングスペース、ウォームアップスペース、駐車場 【上野台体育館】 ・敷地面積：1,939.00㎡ ・供用開始：平成15年5月 ・敷地：アリーナ、ロビー、トレーニング室（別棟供用開始：平成30年4月） 【駒林体育館】 ・敷地面積：16,433㎡の一部（ふじみ野市立さぎの森小学校敷地内） ・供用開始：昭和56年4月 ・施設：アリーナ、ミーティングルーム、幼児室、駐車場 【弓道場】 ・敷地面積：3,753.68㎡ ・供用開始：平成30年11月 ・施設：近的場6的・遠的場2的（アーチェリー兼用）、駐車場 【テニスコート】 ・敷地面積：5,136.00㎡ ・供用開始：平成30年11月 ・施設：砂入り人工芝4面、照明設備、駐車場 【多目的グラウンド】 ・敷地面積：9,986.09㎡ ・供用開始：平成27年4月 ・施設：ゴムチップ入り人工芝、ソフトボール・少年野球場1面、少年サッカー場1面、フットサル場2面 【ふじみ野市運動公園】 ・敷地面積：39,703.19㎡ ・供用開始：昭和54年4月 ・施設：野球場1面、砂入り人工芝テニスコート6面、照明設備、ゴムチップ入り人工芝フットサルコート2面、管理棟99.81㎡ 3×3バスケットコート、練習用ボード、子ども広場 【ふじみ野市第2運動公園】 ・敷地面積：40,177.34㎡ ・供用開始：平成30年4月 ・施設：アリーナ、卓球場、柔道場、剣道場、多目的球場、駐車場、多目的広場、こども広場、修景広場 【荒川運動公園】 ・敷地面積：44,483.46㎡ ・供用開始：昭和58年5月 ・施設：野球場3面、サッカー場1面、管理棟敷地599㎡ 【荒川第2運動公園】 ・敷地面積：15,863.51㎡ ・供用開始：平成12年6月 ・施設：野球場面2面 【びん沼サッカー場】 ・敷地面積：10,892.80㎡ ・供用開始：平成14年10月 ・施設：サッカー場1面		
管理運営の基本方針	本施設の管理運営に関して指定管理者の能力を活用しつつ、本施設の設置目的を効果的に達成させ、住民サービスの向上を図る		
指定管理者の主な業務	本施設の維持管理運営に関する業務、本施設の利用許可に関する業務、市が必要と認める業務		

評価項目

- 【評価基準】
- 5：目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合
 - 4：目標値以上の結果で評価できる場合（上記「5」以外）、又は業務等が適切で、期待する水準以上であった場合
 - 3：業務等が適切で目標値に達している場合、又は業務等が期待する水準どおりであった場合
 - 2：実施計画に基づく管理運営や事業の実施が目標値又は期待する水準をやや下回る場合
 - 1：業務等が目標値を大きく下回る場合（改善指導が必要）

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	各運動施設が安全・安心、公正に利用ができるよう管理運営に努めると共に、元気・健康フェアやロードレース大会等の市指定事業、キッズダンススクールや健康体操等、様々な自主事業を運営し、市民が気軽にスポーツに親しみ健康づくりに取り組むことができる機会の充実に寄与した。	4
区分	具体的な取組の状況・実績	
アスリート育成応援事業	自主事業として、パラリンピック出場のアスリート等の練習環境の支援等、アスリート育成応援事業を展開し、アスリートの競技力の向上に寄与した。	
市指定事業の開催	元気・健康フェアやロードレース大会等の市指定事業について、市、スポーツ協会、一般社団法人ふじみ野ふあいぶるクラブと連携して開催し、参加した多くの方から楽しかったという感想を頂戴し、笑顔があふれる事業を展開した。	
トップアスリート・トップチーム連携	北京オリンピック銀メダリストの高平慎士氏による中学生スキルアップ教室、プロ卓球チームのT.T彩たまによる卓球ドリームフェスタ、浦和レッズハートフルクラブサッカー教室、西武ライオンズ親子野球教室等、スポーツにおけるトップ選手やトップチームと触れ合う事業を多数展開し、子どもの夢を育むことや、市民のスポーツを行う意識の向上に寄与した。	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
外部専門家からの指摘事項の概要	自己資本比率は、40.1%で安定しているとともに、現預金は潤沢であり、資金繰りに問題はない。売上高、利益ともに継続して堅調で、また、対売上高税引前当期純利益率も高い。(アイル・コーポレーション株式会社) 固定資産が少なく、流動資産が多いため、資金繰りが安定しているとともに、売上高、利益ともに順調に推移している。(株式会社オーエンス)	4
その他特記事項	埼玉県内で15市町村、63施設の指定管理事業を展開し、会社として様々なノウハウを共有し、安全、安心な施設管理を継続している。	

3 施設の有効活用

		利用区分等	予定（計画・目標） 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
施設利用状況		スポーツ施設利用コマ数	32,800 コマ	26,044 コマ	94.6%	79.4%	
		スポーツ施設利用人数	162,200 人	104,554 人	85.9%	64.5%	
		運動公園施設利用コマ数	24,700 コマ	30,583 コマ	93.3%	123.8%	
		運動公園施設利用人数	127,000 人	138,358 人	99.6%	108.9%	
		(特記事項) R4年度は新型コロナウイルス感染症による利用制限はなく、一般利用に関しては通常利用に戻りつつある。 しかし、大会等については、見合わせたものもあり、大会数、大会参加人数はコロナ禍以前より減少している。					
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由			
	市指定事業	【運営業務】 利用の許可等の業務、利用料金の徴収業務 【維持管理業務】 建物・設備の維持管理、保守点検業務、清掃業務、植栽管理業務、警備及び駐車場整理業務 【企画事業】 ふじみ野市第18回ロードレース大会、元気・健康フェア、中学生スキルアップ教室、スポーツボランティア養成講座、指導者向けトレーニング教室、スポーツカレッジ、こどもたいいくじゅく、ライフ塾、はじめてのフラ、ピラティス入門、シニア脳トレ運動教室、シニア元気塾		追加事業	【企画事業】 卓球ドリームフェスタ、浦和レッズハートフルクラブ サッカー教室、西武ライオンズ親子野球教室		
				未実施事業	無し		
	自主事業	【継続】 キッズダンススクール、ウォーターサバゲー、健康体操、アスリート育成応援事業 【連携・協力】 アウトリーチ（市内団体向け） キッズインドアテニススクール（ふじみ野市ふあいぶるクラブ）		【新規】 バドミントン教室（ふじみ野市ふあいぶるクラブ）			
利用サービス向上の取組		・第2運動公園アリーナの窓へ網戸を新規設置し、虫の侵入を防ぎ利用者が快適に利用できるよう努めた。 ・テニスコートの照明灯ポールにクッション材を設置し、利用者の安全確保を行った。 ・多目的グラウンドのトイレにドアが無く、目隠しとしてスウィング式の扉を設置し、プライバシーへの配慮を行った。 ・子どもから高齢者まで幅広い層を対象に、誰もが気軽に参加できる様々な事業を充実させ、市民がスポーツに親しむ機会の増加に寄与した。					

4

4 利用者評価

区分	内容		評価
利用者の 要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者満足度調査（その他として利用者からの声、及び利用報告書により要望を受け付けた。）	4
	(2) 調査、会議等の内容 【調査期間】 令和4年12月1日（木）～12月26日（月） 26日間 【調査方法】 施設利用者による自記式アンケート（施設受付職員による配布・回収） 855人（未記入は無効回答とした） 【調査項目】 利用状況等 管理運営の満足度 【調査場所】 総合体育館（多目的グラウンド・弓道場・テニスコート・グラウンドゴルフ場）・上野台体育館・駒林体育館・ふじみ野市運動公園・第2運動公園・荒川運動公園 【分析機関】 第三者機関（株式会社MSS）		
	(3) 調査、会議等の結果 有効回答数855名 総合満足度は、「満足」と「やや満足」の比率の合計が91.9%と高い満足評価を得ている。 前回調査と比較すると、満足評価は2.5ポイント上昇している。		
利用者からの 評価・要望・ 苦情等	(1) 良好とする評価 ・施設がきれいに整っていました。ありがとうございました。（スポーツセンター） ・いつも芝など刈ってもらってありがとうございます。（グラウンドゴルフ場） ・リーズナブルに利用できる、いつも親切に対応してもらえる。（上野台体育館・駒林体育館） ・利用しやすい施設、満足している。（ふじみ野市運動公園） ・スタッフの皆さんとても感じがよく話しやすい。いつもきれいに掃除が行き届いている。（ふじみ野市第2運動公園）		4
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ①入金方法をネット決済にしてほしい。 ②予約の当日キャンセルが多く使いたい人が使えない。 ③受付手続きに手間がかかる。 ④受付職員により対応が違うことがある。統一してほしい。 ⑤設備備品が古い。卓球ネット等を新しくしてほしい。 《対応措置》 ①予約システムとの連動が出来次第、導入を検討していく。 ②当日キャンセル等が目立つ団体へは、施設側から余裕をもってキャンセルしていただくようお願いをしていく。今後、キャンセルに対するペナルティ等が必要か検討する。 ③感染症対策のチェックリスト等があった為、本来より受付時の記入事項が多かった。適宜見直しをしていく。 ④職員の対応は統一できるようにマニュアル化している。年間を通して研修も行い同じ対応ができるようにする。 ⑤優先順位をつけて、備品類は更新をしていく。		

	指定管理者収支（令和4年度）				市の収支				評価				
		年度計画額		収支実績額			令和4年度決算			令和3年度決算（前年度）			
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額		
	①指定管理 業務事業収支	収入	利用料金	30,964,000	利用料金	33,325,150	歳入	施設使用料			施設使用料		
事業収入			2,546,000	事業収入	1,127,000	行政財産使用料		680,218	行政財産使用料	688,865			
指定管理料			94,560,000	指定管理料	96,478,000	国庫支出金			国庫支出金				
雑入			0	雑入	383,400	県支出金			県支出金				
管理運営費への充当			1,598,000	管理運営費への充当	99,084	その他		136,485	その他	258,503			
計			129,668,000	計	131,412,634	計		816,703	計	947,368			
支出			人件費	68,675,000	人件費	75,637,962		歳出	修繕料	8,818,040	修繕料	935,700	
	消耗品費	3,958,000	消耗品費	5,274,874	保険料	217,022	保険料		212,847				
	光熱水費	6,460,000	光熱水費	9,322,442	指定管理料	96,478,000	指定管理料		93,554,000				
	委託料	8,873,000	委託料	9,243,384	業務委託料	16,500	業務委託料						
	賃借料	2,294,000	賃借料	1,875,477	土地・建物賃借料	2,145,884	土地・建物賃借料		2,303,064				
	通信費	1,292,000	通信費	1,224,186	その他	8,349,370	その他		29,160,220				
	保険料	1,311,000	保険料	1,673,972									
	修繕費	2,339,000	修繕費	2,983,968									
	事業費（市指定事業）	1,067,000	事業費（市指定事業）	1,936,018									
	公租公課	6,887,000	公租公課	7,418,261									
	一般管理費（本社経費等）	9,180,000	一般管理費（本社経費等）	9,180,000									
	現場管理費	13,339,000	現場管理費	14,060,384									
	事業費（企画事業）	3,993,000	事業費（企画事業）	2,912,951									
	計	129,668,000	計	142,743,879	計	116,024,816	計		126,165,831				
収支	0		△ 11,331,245		差引	△ 115,208,113		△ 125,218,463					
②自主事業 収支	自主事業収支	収入	4,617,000	収入	1,716,500								
	自主事業収支	支出	3,019,000	支出	1,617,416								
	自主事業収支	1,598,000	自主事業収支	99,084									
③収支 ※指定管理事業 ＋自主事業 （①＋②）	収支	1,598,000		△ 11,232,161									
	市への納付金	支出		支出									
④市への納付金 ※納付金がある施設のみ	市への納付金	支出		支出									
⑤最終収支 （③－④）	収支	1,598,000		△ 11,232,161									
⑥新型コロナウイルス 感染拡大防止に係る過年度指定 管理料（令和3年度分）	（収入）市からの給付額		0		（歳入）指定管理者からの返還額						0		
	（支出）市への返還額		0		（歳出）指定管理者への給付額						0		
分析	人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】										53.0%		
	事業収支における経営分析				【収入】 ・電気料金の高騰により指定管理料が1,918千円の増額。 ・コロナ禍でも少しずつ事業が通常時に戻りつつある。その中で管理運営費への充当となる自主事業の運営が課題となっている。 【支出】 ・人件費：最低賃金の引上げ及び常勤職員のベースアップにより当初計画より上回っている。 ・光熱水費：電気料金高騰によるもの。節電対策を行ったため、電気使用量自体は昨年度を下回っている。 ・消耗品費：屋外施設の土、砂、塩化カルシウム等の必要備品の購入による増加 ・事業費（市指定事業）：備品の購入（サッカーゴールやバレーボール支柱、卓球台等）。経年劣化による備品の損傷により購入を必要とした。								
	一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由												

6管理運営全般

※すべて「適」で「3」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容		適否欄	評価
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか		適	4
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか			
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか		適	
	配置実績	常勤職員5名、非常勤職員63名		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		適	
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		適	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		適	
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		適	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか			
特記事項	運動指導士、スポーツ救急員公認インストラクター、体育施設管理士等の資格を有する職員、また豊富な経験を有する在勤10年以上の職員が多く在籍している。			

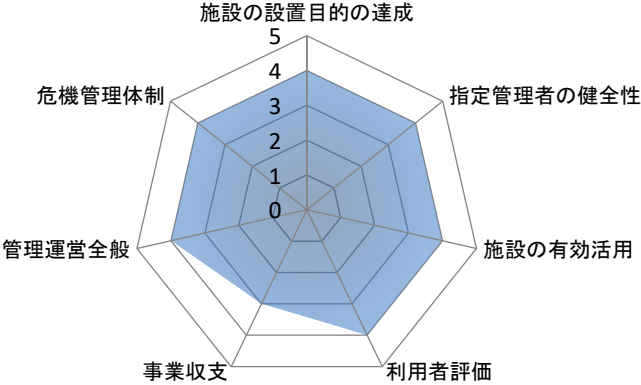
7危機管理体制

※すべて「適」で「3」。1箇所でも「否」の場合は「1」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	4
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項	熱中症対策として、各施設に暑さ指数（WBGT）計を設置し、顔マークを用いてわかりやすく危険を周知するとともに、暑さ指数が25以上の場合、利用中止による利用料金の還付を受けている。また、多くの職員がAED講習受講済みである。		

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている / A:優れている / B:やや優れている / C:適正である / D:努力が必要である / E:改善が必要である

総合評価	評価項目	評価	総合評価		スポーツ・レクリエーション系施設
	施設の設置目的の達成	4	B		
	指定管理者の健全性	4			
	施設の有効活用	4			
	利用者評価	4			
	事業収支	3			
	管理運営全般	4			
	危機管理体制	4			

評価理由	- 施設の管理運営は、概ね適正に実施されている。 - 利用者からの評価では、高い満足度を得ており、職員に対する満足度が高い点は、評価できる。 - キッズダンススクール、健康体操等、アスリート育成応援事業等、多くの自主事業を実施し、市民が気軽にスポーツに親しみ健康づくりに取り組むことができる機会の充実に寄与した。
------	--

取組・改善案等	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項
	施設利用者からの要望は多岐に渡ることから、順位付けし順次対応していく。更なる魅力ある施設としてサービスの向上に努める。	施設利用者からの様々な要望に対し、対応可能なものから実施し、利用サービスの向上に努めた。また、自動販売機の新規設置や投光器の導入、安全対策としてテニス照明柱にクッション材を設置するなど、利用者目線の対策に努めた。 経営的には電気料金が高騰している中で節電に努めて電気代を抑えるなど、経費の効率的な運営に努めた。	多彩なスポーツ事業を展開することで子どもから高齢者及び障がい者など誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる機会を提供する。また、引続き施設利用者からの要望に対して順次対応していく。

指定管理者自己評価
(1) 評価期間の取組に対する評価 ① サービス向上に向けての取組 - 多目的グラウンド：トイレ入り口に扉がないため目隠しの扉をつけて欲しいとの利用者からの要望に応えスウィング扉を設置。 - 駒林体育館：アリーナ床面張替え。和式トイレから洋式トイレへの改修工事。駐車場スペース拡大。 - 第2運動公園：虫の侵入対策を求める要望に応え、アリーナ窓へ網戸を設置。また、風の強い日に水撒きを行い、利用者及び近隣への砂埃対策を実施。 1日貸しロッカーの2日連日利用を開始。 - 男子トイレへのサンタリーBOX設置。 ② 業務の効率化に対する取組 - 多目的グラウンド：水道、トイレ凍結による破損が続いていたため凍結対応の蛇口へ付け替えをした。R4年度は凍結による破損がなかった。 - テニスコート：オムニコートになった為全天候での利用が可能になった為集計方法を他施設と統一。集計の簡素化、紙の削減を実施。 - 利用状況集計のデータ化を行い、集計・抽出をしやすくした。 ③ その他 - 子どもから高齢者まで幅広い層を対象に、誰もが気軽に参加できる様々な事業を充実させ、市民がスポーツに親しむ機会の増加に寄与した。 - 埼玉県内15市町村63施設の指定管理事業のノウハウを活かし、トップアスリート・トップチームと連携した事業を展開した。 - 熱中症対策として、各施設に暑さ指数(WBGT)計を設置し、顔マークを用いてわかりやすく危険を周知している。 - 安全、安心な施設管理のため、体育施設管理士、スポーツ救急員公認インストラクター、木製床管理者等、有資格者を配置している。 (2) 管理業務実施上の課題 - 直前キャンセルが増加傾向のため、直前キャンセルに対するペナルティ等を検討していく。 - より多くの市民がスポーツに親しみ、健康づくりに取り組む機会の充実に寄与するため、自主事業の参加者数を増やすことが求められる。 (3) 次年度以降の取組 - SNSの活用：自主事業の参加者を増やすためにSNSを活用し周知するとともに、グラウンドの状況など利用者が知りたい情報を可能な限りリアルタイムで伝えることにより、より一層利用しやすい環境を作る。 - SDGs、ダイバーシティに関する取り組み：障がいの有無を問わず、誰もがスポーツに親しみ、健康づくりに取り組むことができるように事業を展開する。